



追手門学院大学 校友会会報

**大学校友会とともに
チャレンジ**

**大学校友会とともに
チャレンジ**

**大学校友会とともに
チャレンジ**

学校法人追手門学院
理事長 川原 俊明

『新任のご挨拶』

大学校友会におかれましては、日頃より、学院運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

がとうございます。私は、このたび7月1日より理事長を拝命いたしました川原俊明でございます。

大木前理事長の後を受け継ぎ、新たな体制のもとで学院運営に関わることになりました。よろしくお願ひいたします。

『新理事長は
本学院卒業生』

大学校友会は、追手門学院大学卒業生の同窓会組織として、すでに4万人の卒業生を抱え、社会のさまざま分野でご活躍のことと

お慶び申し上げます。私は、本学院卒業生（小71期大手前中高14期）であります。竜田学院長も、学院の卒業生です。理事長と学院長いざれも本学院で初めて卒業生が就任したことになります。123年の伝統を受け継ぐ追手門学院として、新たな歴史を刻むことになりました。

追手門学院大学は、私の高校卒業と同時に誕生しました。同級生の多くが追过大は、他大学と異なり人間関係の緊密さはまさに追手門学院の伝統を受け継ぐものであります。

『追手門学院大学の飛躍的発展をめざす』

いま、私は厳しい時代を迎えています。その中で、追手門学院の将来は、追手門学院の飛躍的発展にかかっています。

学院の大きな目標は、追手門独自の伝統的な人間教育、心の教育、あるいは志の教育の徹底にあります。それによって追手門プラン

ドが確立できれば、関連同立にも十分に対応できます。全学院のベクトルが一つになれば、私学の雄・追手門学院の確立は十分に可能なことです。その意味で、大学改革は急を要します。追大が輝けば、追手門の全学がさらに輝きを増します。

私は、大学校友会のみなさんと力を合わせて大学改革を実践したいと思います。大学校友会とともに、改革へチャレンジしましょう。

在校中、学院創立120周年記念事業の一環として学院全キャンパスのリニューアルを推進し、大学も改修・新築の事業を行いました。校友会からは「将軍山会館」建設のご寄附を頂戴しましたが、瀟洒なデザインのこの会館は後々まで残る立派な施設として、卒業生の方々ばかりでなく、後々の学生たちにも長く愛され、活用されるものと存じます。

大学は2016年に創立50周年という記念すべき年を迎えるが、少子化や競合環境の激化など、大学を取り巻く状況には厳しいものがあります。大学卒業生の皆様、大学校友会の一層のご支援をお願いする次第です。

終わりに、大学校友会のご発展と校友の皆様のご健勝を願いまして、退任のご挨拶とさせて頂きます。

6月末をもちまして理事長を退任致しました。理事長職を10年近く、勤めさせて顶きましたが、その間、皆様方より頂きましたご支援、感謝の意を込めてお礼申し上げます。



高大連携について報告

支援するという点に關して、自分の為ではなく母校の為に同じ方向にむけて今こそ全員の協力が必要ではないでしょうか。

母校の飛躍的発展をめざし、後ろ向きの議論ではなく、今こそ力を結集し歩み進めるべく校友会も協力を考えております。

母校支援の為、校友の皆様のさらなるご協力をお願ひ致します。

追手門学院は、総合学園としてのメリットを生かして、幅広い学びの機会、すなわち様々な体験的な学びの機会や、追手門学院大学との連携による学習を通して、しつかりとした目的意識をもつて追手門学院大学に入学しています。

先日、追手門学院後援会の集いで講師の原丈人氏が繰り返し言つておられた、「追手門学院大学の学生は、もつとアジアに、世界に出

ります。

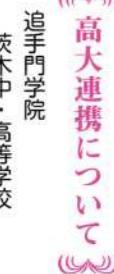
才能の発掘にも力を入れております。

私立学校には創設者と建学の精神が明確に存在するので、志を立てる「志立学校」でもあります。在校生が、人生において何を目的にするのか、学院は、その「志の教育」を担う責任があります。

一貫教育と志の教育を支えるのが、「自校教育」であります。最近、「追手門の歩み」を出版し、教科書として使用していますが、自分の学校を知り、誇りを持つことは、教育理念の理解と実践につながります。

その一つとして、学院の名声を国内外に知らしめてくれた「高島鞆之助賞」を制定し、本年7月、宮本輝氏と中西大輔氏に授与しました。また、追手門学院に3代にわたって入学された家族に、感謝の気持ちを表すことにして、約10組のご家族に感謝状を贈呈しました。

大学校友会は、上述の3つの教育の柱に沿って、幼稚園から大学までのリーダー



高大連携について

し、本校での学習成果を基盤にして、大学でさらに一步進んだ学問の探求を行うとともに、リーダーシップを發揮し大学の活性化に寄与し、社会貢献できる人材の育成を目指して、「追手門コース」を設置しました。

今年度は、高等学校1年生全員を対象に、竜田学院長、落合学長はじめ各学部の先生方から講義をいただき時間を使つて、追手門学院の教育内容について知る時間を設定しました。現在、来年度高校2年生の追手門コースの具体的なカリキュラムの検討を行つています。我が国は、現在、様々な分野で厳しい状況におかれています。日本文化のアイデンティティーを大切にして、将来、グローバルな人材となるための実用的な英語力やコミュニケーション力をしつかりと学べるコースとすべく検討を重ねています。

先日、追手門学院後援会の集いで講師の原丈人氏が繰り返し言つておられた、「追手門学院大学の学生は、もつとアジアに、世界に出

て活動すべきだ」との声に応えられる大学生が追手門学院大学から数多く輩出されるよう教職員一丸となって努力いたします。引き続き校友会の皆様のご指導ご支援をお願い申し上げます。



大手前中・高等学校
23年度進学状況

また、教育理念を実践するにあたり、「自己肯定感」、「関係性」をキーワードとし、まず学習面で「自己肯定感」を得させたいという願いから、「サイクル」学習や、学力「層別」学習を

で不安定な状況が続いております。今後こうした現実を生きる生徒たちに対して、中高として、学院教育理念「独立自彌・社会有為」に基づく人財育成教育の必要性を思い、学習面や生活面などすべての教育活動の根幹に、教育理念を据えて取り組んでおります。

また、教育理念を実践するにあたり、「自己肯定感」、「関係性」をキーワードとし、まず学習面で「自己肯定感」を得させたいという願いから、「サイクル」学習や、学力「層別」学習を

今春の大学合格状況は、国公立大30名、関関同立大25名と昨年度より倍増し、産近甲龍大249名、追手門大学38名とすべての学力層で伸びがみられることはうれしいことです。

また、「高大連携」事業に追手門学院大学の5学部の先生を講師として「追大講座」を開設しています。そして今年度から、高校3年生を対象に、メディアで世界を知り、志を立て学ぶことの大切さを考える「立志塾」講座を新設しました。

今後、二つの講座を軸として、「追大コース」を整備していく所存です。

加えて来年度から「スポーツコース」を設置する方向で考えております。女子サッカー部を新設し、アメリカンフットボール部を強化し、ガンバユースのメンバーなどで構成する予定です。

総合学園としての利点を活かし、スポーツを通しての高大連携も可能ではないでしょうか。高大連携事業の活性化が図られることを願っております。

考案し、実施しています。これらの成果として、学力の定着が図られ、さらに進学実績が向上しました。

現下の国内外の情勢は大きく変動しており、不透明



学校法人追手門学院
学院長 竜田 邦明

本年1月、学院教育改革検討委員会を設立し、3つの教育の柱、「一貫教育・志の教育・自校教育」を提唱いたしました。

追手門学院は幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園であり、大学（追大）は、「一貫教育」の頂点にあるので、幼稚園から高校まで牽引する責任があります。

「一貫教育」の実現に向けた第一歩として、大手前高等学校に追手門コースを新設しました。追大への進学を希望する生徒約30名が、基礎を重視した教育の中で、実学と教養を学び、各人の

**一貫教育・志の教育
・自校教育**

一として、さらに存在感を見せつけ、ますます盛んになるよう願っております。これ

は、環境問題、エネルギー問題、食料問題、経済不況、貧困や格差、自然や人工災害、知識基盤社会、高齢社会、グローバル社会などが、もたらす地球規模の課題が山積している現代社会だからこそ、教育による人材育成、研究による学問の発展、研究成果の社会還元、社会への提言、文化の創造と発信という本来の機能を十分果すことができる、教育と研究の確かな大学を本学が目指しているからでござります。

昨年度は、校友会のご支援により上海師範大学との国際交流プログラムの協定、就職率の向上、さらに留学生との交流会などが実現いたしました。

たまきまして、お礼申し上げます。

今年度は、校友会のご支援により上海師範大学との国際交流プログラムの協定、就職率の向上、さらに留学生との交流会などが実現いたしました。

昨年度は、大学創立45周年を迎えております。国際交流推進の最終年でもあります。来る創立50周年への足場つくりと位置づけ、「追手門の教育ルネサンス」と銘打つて教学改



追手門学院大学
学長 落合 正行

校友会からは、入学式や卒業式はもちろん、将军山祭、留学生、就職活動、国際交流など様々な支援をいたしまして、お礼申し上げます。

大学では、給付奨学生、課外活動などの学生への支援、これに加えて教養教育、語学教育、国語教育などの研究、国際交流プログラムの実現などを進めてまいります。

大学では、給付奨学生、課外活動などの学生への支援、これに加えて教養教育、語学教育、国語教育などの研究、国際交流プログラムの実現などを進めてまいります。

大学創立45周年にあたる本年は、各支部（東京、東海、京都、中国、四国、九州）活動の活性化、大学キャリア開発部と共にでの就職支援、国際交流年最終年にあたり、嘗てから校友会が提携していた上海師範大学と母校との提携の橋渡し、母校創立50周年に向けての記念事業の為、校友会評議員の強化等をおこなつてまいりました。

50周年に向けて母校のさらなる発展の為校友会、大学経営陣、大学教職員、各種OBC会、教育後援会、卒業生保護者の会、現役の学生が、母校の発展・充実を

母校創立45～50周年に向けて

校友会会員の皆様には、平素校友会活動に格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。



追手門学院大学
校友会会长 平野 昌雄

校友会会員の皆様には、平素校友会活動に格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

「今は一日も早く日常を取り戻したい」と、「先生から戴いた温かい心と教えて戴いたことを糧に子ども達と楽しく頑張つていきた」とありました。この日常こそが大切なだとあらためて痛感し、だからこそ今後の長い道のり継続支援が大切だと思いました。

最終日にまだ先生方の相談が続き、迎えのバスが来て「橋本先生をあと10分だけ借りさせてください」と車までお願いに走られた校長先生の姿、「先生たくさん教えてくれてありがとう」とメッセージを書いてくれた子ども達。わずか1週間という期間でしたが、この絆が少しでも今後の力に繋がることを祈りながら被災地を後にしました。

文科省から依頼を受けて追手門学院の教員として、この度、心のケアの支援に携わりましたことのご報告と、これから永く継続して被災地支援を皆様にお願い致したく、パンをとらせて戴きました。

「今は一日も早く日常を取り戻したい」と、「先生から戴いた温かい心と教えて戴いたことを糧に子ども達と楽しく頑張つていきた」とありました。この日常こそが大切なだとあらためて痛感し、だからこそ今後の長い道のり継続支援が大切だと思いました。

最終日にまだ先生方の相談が続き、迎えのバスが来て「橋本先生をあと10分だけ借りさせてください」と車までお願いに走られた校長先生の姿、「先生たくさん教えてくれてありがとう」とメッセージを書いてくれた子ども達。わずか1

週間という期間でしたが、この絆が少しでも今後の力に繋がることを祈りながら被災地を後にしました。

文科省から依頼を受けて追手門学院の教員として、この度、心のケアの支援に携わりましたことのご報告と、これから永く継続して被災地支援を皆様にお願い致したく、パンをとらせて戴きました。



「泥の河」文学碑、大阪中之島の湊橋に建立
追手門学院大学第1期生、宮本輝氏(芥川賞受賞作家)のデビュー作「泥の河」の舞台となつた大阪・中之島西端に架かる湊橋の南詰めに文学碑が建立され、6月5日宮本輝ご夫妻が招かれ除幕式が行われました。

文学碑は、湊橋の袂で船会社を経営する一本松伸氏(追大2期生)の「川の駅」として認定されたことを機に、一本松氏が発案、平野昌雄氏(追大1期生)らの呼びかけで、有志によつて設立されました。

一本松氏の実家は宮本氏の隣で、幼い頃、一緒によく遊んだ仲で、文学碑は「泥の河」発祥のこの場所に記念になるものを残したいといつても思つて結実したものでした。



第一回高島鞆之助賞受賞の喜び

追手門学院後援会の集いが開催されました
7月9日(土) 大阪城スクエアで開催されました。今年度より、追手門学院創設者の高島鞆之助氏を記念し制定された高島鞆之助賞の第一回受賞者が発表されました。お二人の受賞者はともに大学の卒業生で、第一期生の作家宮本輝氏と第23期生の冒險家中西大輔氏でした。

また、親子3世代追手門ファミリーも表彰され、10組の親子3世代が登壇しました。この中で大学出身者は3組でした。

追手門学院大学の第一期卒業生として、これ以上に光栄な賞はないと思つております。

追手門学院大学の第一期卒業生として、これ以上に光栄な賞はないと思つております。

これは、百年先、三百年先、千年先を見すえた大計であり、創設者の人材育成の理念、教育哲学だけでなく、長期にわたつての経営手腕までもが問われる難事業です。

追手門学院は創立百二十年を越えて、これからさらに多くの人材を社会に送り出すことでしょうが、その基盤を作つた創設者の名を冠した賞を頂戴いたしましたことは、私にとりまして、大きな名誉です。心から御礼申し上げます。

このたび第一回の高島鞆之助賞を賜りましたこと、ありがとうございます。

追手門学院大学の第一期卒業生として、これ以上に光栄な賞はないと思つております。

これは、百年先、三百年先、千年先を見すえた大計であり、創設者の人材育成の理念、教育哲学だけでなく、長期にわたつての経営手腕までもが問われる難事業です。

追手門学院は創立百二十年を越えて、これからさらに多くの人材を社会に送り出すことでしょうが、その基盤を作つた創設者の名を冠した賞を頂戴いたしましたことは、私にとりまして、大きな名誉です。心から御礼申し上げます。



ことです。

私はとつてかけがえのない自転車での活動で初めて名前を頂いたのは追手門学院大学在学中の1990年です。夏休みを利用して自転車で単独アメリカ横断を果たし、学友会体育会から特別賞をいただきました。砂漠での猛烈な暑さにへこたれた時や孤独感に襲われた時、クラブの仲間の顔を思い出して力をよみがえらせ、ペダルを踏み続けることが出来ました。

大学を卒業し、6年の歳月が過ぎてもニューサイクリング部で培つた冒險心やチャレンジ精神は失せず、1998年に自転車で世界一周にチャレンジすることになりました。旅の道中は危険なことにも日々遭遇しましたが、そこでしか得られない人々との友情が生まれました。11年に及ぶ旅から帰国し、講演会などを通じ

た未曾有の災害に、我が国の、世界の人々が心痛め、そして自分に何ができるか模索し始めました。心理学部を擁する追手門学院大学では、この危機に際し心のケアについて何をなすべきか、何ができる何ができるのか、私も暗中模索でした。

文科省から東北被災地へのスクールカウンセラーとしての支援の依頼があつた時には、現地の衛生状態や被災状況を考えると、私のよう

うな中高年者が被災地支援に入つてかえつて迷惑をかけることになつてはと悩みました。15年前の阪神大震災で全壊した自宅の下敷きになり九死に一生を得た私は

3月11日東北の地を襲つたときには様々な反応がみられます。また、個人差も大きく、ときには何年も続く場合や、何年も後何かのきっかけでフラッシュバックすることもあります。

身体にあらわれる反応、行動にあらわれる反応、気持ちにあらわれる反応、考え方があらわれる反応など様々です。

私が派遣された地域は、

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

現地に入つてまず目の前にあるのは津波の被害の甚大さでした。地震による家の倒壊が多くの人命や生活を奪つた阪神との違いでした。

東日本大震災義援金のさらなるご協力お願い致します。
在校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集中を始めました。現在まだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

在校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集中を始めました。現在まだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

在校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集中を始めました。現在まだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

在校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集中を始めました。現在まだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

在校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集中を始めました。現在まだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

在校友会では、大震災発生後ただちに義援金の募集中を始めました。現在まだ不足致しております。今一度、被災地の苦境をご理解頂き、義援金のご協力を賜りますようお願い致します。

うと考きました。学校の先生方の研修、子ども達の心の授業、各学年の先生とのコンサルテーション、保護者の方のカウンセリング、子ども達のアセスメントやカウンセリング等々、凝縮した支援に入った被災地の学校の先生から先日お手紙を戴きました。



母校は2016年に創立50周年という記念すべき年を迎ますが、さらに新たな5年の第1歩を踏み出します。大学を取り巻く環境は、少子化や競争激化等厳しいものがあります。

母校に対する校友の意識高揚、若手校友の参画、地域に根差した活動の支援、国際化問題等今後の母校支援に対する校友会活動は



校友会会长 平野 昌雄
(一期生 経済学部)
校友会員の皆様には、平素校友会活動に格別のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

校友会会长挨拶

校友会会長 平野 昌雄



な青年期を4年間過ごされました。学生時代の生活は、これから経験する生活とは随分違った生活です。これから社会の中で、大学生活の4年間の真価が問われます。そして、皆さんは、また追手門学院の卒業生としても評価されることとなります。政治、経済、文化など、世界規模で考えなければならなくなつてきてます。従つて、例えば経済的状況も、一つの国の中では解決しがたいこととなつてきています。このようないくつかの問題解決は、これまでの経験が必ずしも意味を持つわけではありません。

このような時代に求められるのは、国際的教養人です。広い視野から物事をとらえることが出来、妥当な判断が出来、さまざまな文化、社会制度、価値を考慮

**「大学創立50年史
並びに記念DVD」を作成することになりました**

皆さまのご家庭で眠っている大学に関する貴重な映像や写真（当時の記念映像（8ミリ、16ミリフィルム）、ゼミナールやクラブ活動の写真・資料等）がございましたら、「ご寄贈」「ご貸与」いただきますようお願いいたします。
詳しくは、本誌6ページをご覧ください。

心理学科同窓会のお知らせ

10月30日(日)、心理学科では心理学科同窓会を開催いたします。午後2時から2号館3階2305教室において開催の予定です。同窓生といましても随分と広い年齢幅にわたっております。最近は卒業年度ごとの集まりをもつ動きも出てきております。そのような集まりをもつつの機会として活用していただくのも良いのではないかと考えております。

お問い合わせ 心理学科実験準備室 (072-641-9619) まで。

今年も大学祭期間中の10月30日(日)に、校友会総会が午前11時より大学食堂棟3階でホームカミング・デーが正午より大学食堂棟1階で開催されます。是非、ご参加ください。なお、将軍山会館では、「思い出の卒業アルバム展」が開催されます。

**総会及び
ホームカミング・デー
開催のご案内**

**社会学部支援同窓会
ソキウス総会のおじらせ**

ソキウス会長 メ野洋司
10月30日(日) ホームカミング・デーの日に、社会学部支援同窓会ソキウスの第6回総会並びに懇親会を開催いたします。

ロフレールシートを掲載していますので校友の皆様はふるってのご協力、ご提出をお願い致します。

会報の9・10ページ部分を切り取り必要事項をご記入の上、点線に沿つて封筒を作りポストへ投函お願いいたします。

は、登録の前に次の2つのメールアドレスを指定受信許可にしておいてください。
(携帯指定受信変更の方がわからないときは携帯電話のショットにお尋ねください)

mm-info@ogu-koyukai.com
info@ogu-koyukai.com

最初のQRコード読み取り不可の場合は次のアドレス①より登録をお願いします。
メルマガは携帯電話での受信を中心に発信していますが、パソコンでも受信可能です。
また、メールマガジンへの登録をお願いします。
メルマガは携帯電話での受信を中心に発信していますが、パソコンでも受信可能です。
また、携帯用のホームページも完成し、メールマガジン用ホーメーブームペー^トジも完成し、メールマガジン用ホーメーブームペー^トジよりは伝えきれない情報を、パソコン用ホームページよりも早く、リアルタイムにお伝えできるようになります。
ぜひとも、メールマガジンと同時に、



携帯電話で読み込み、インターネットに接続して新規登録をお願いします。
メルマガの受信は、パソコンと携帯、両方に登録できます。
メルマガ登録用 QR コードを携帯電話で読み込み、インターネットに接続して新規登録をお願いします。
メルマガの受信は、パソコンと携帯、両方に登録できます。
メルマガ登録完了メールと共に、登録変更用のアド

①メルマガ登録用 QR コード
http://ogu-koyukai.com/script/member_regist.php
②携帯電話用ホームページ QR コード
<http://www.ogu-koyukai.com/keitai/koyukaitop.html>



編集後記

72号発行にあたり、理事、評議員以外の一般校友まで広報委員会とキャリア開発支援委員会に御加入下さり、大所帯になつてきましたが、それなりの成果が実つたと思っています。お力添え賜りました、教職員の皆様方には、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。有難う御座りました。(Ni)

もみのん東京へ
東京支部長 春名 弥生
 (5期生 文学部)
 新43期生の皆様、お卒業
 めでとうございます！

新生生活を始める皆様は、きっと一大決心のもとに上京されたことと思います。見知らぬ土地への不安は如何ばかりかと察し致します。

まずは、はじめに……関東圏では、追手門学院大学の知名度は、ゼロに等しいです。関西の関関同立の4大学名すら正確に答えられない人が大勢いるのが東京です。地元大阪育ちの私達には、太閤秀吉築城の大坂は大都市と思っていますが、こちらに来ると、大阪は名古屋と並ぶ地方都市にすぎないのです。だからこそ、実に気楽なのです！学歴やコネでもない、個々の実力で勝負できる環境がすでに整っているという訳です。さらに、親子三代の生粋の江戸っ子は、

どこに住まわれて、どうしておられるか調査し皆様の現状を把握して卒業しても皆様のお役に立てばと考えている組織です。

皆様は卒業されてからが人生の第一歩であり、社会のきつい波との戦いが待つております。しかし、皆様にはこれからが夢があり希望があります。又、大学時代のたくさんの仲間がいます。このすばらしい仲間が卒業しても相談にのつてくれたり、はげましてくれたりできる唯一の宝だと思います。

どんな小さな集まりでも大切にしていきたい。又、少しでも援助ができるたらと強く願つているだけです。卒業しても仲間を大切にしてほしい。いつでも連絡を下さい。

どんな小さな集まりでも大切にしていきたい。又、少しでも援助ができるたらと強く願つているだけです。卒業しても仲間を大切にしてほしい。いつでも連絡を下さい。

これからが本番**四国支部長 中川 純**

(21期生 文学部)

「卒業おめでとうございます！」
 小学校から学び追手門学院大学で仕上げた学習成果を社会という現場で発揮す

るときがやつてしましました。いままでの成果を精一杯、社会で実践、還元して欲しいと思います。

さて、卒業にあたり、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」という言葉を贈ります。これは、私が追大で始め現在も修行を続いている、少林寺拳法創始者、宗道臣の言葉です。意味は、「自分の幸せだけを考えるのではなく、半分は他人の幸せを考え実践することで世の中が良くなる」という訓えであり、どのように普普通的な訓えだと思っています。是非、社会で活用して欲しいと思います。

さあ、みなさんは、追手門学院大学卒業生という看板を背負っての船出、これからが本番です。

風ぎの時、時代の時、社会に出れば色々なことがあります。嬉しいとき、どんなときでも在校友会は、みんなの寄港地としての役割を果たせるよう活動しています。

新卒業生の皆さん、
京都支部長 岡 正樹
 (6期生 経済学部)
 新卒業生の皆さん、おめでとう！

君達は、追大に校友会なる会があるのを存知ですか？そう、卒業アルバムを卒業生に贈呈している会です。新卒業生の君達は、追大校友会の新入会者になつたのです。

では校友会って何の会？答えは、O B会です。

今、社会では媒体をとおしての縁や絆が主に成りつたあるなか、阪神淡路1・17や東北の3・11を体験する事により、体温の感じる人との本来の縁を大事にし、そして育み、その絆を大切にすることが求められます。

是非、校友会活動に参加してください。

本年度卒業される皆さんへ
九州支部長 岩崎 陽一
 (6期生 文学部)

大学を卒業し教員としての道に進んだ当時、追手門学院大学の知名度の上昇と素晴らしい先輩の存在にすごく嬉しい気持ちになつたことを覚えてます。その気持ちから、卒業生の一人として、若い母校の校風と伝統の創造支援者として九州での活動を始めました。そんな中、母校が輩出した卒業生の諸々の活躍や学院の歴史を知るにつれ、追手門のリアルで家族的温かさの良さ

が理解できるようになります。

特に、校友会の活動は会員の「皆で創る」よりよい校友会として、また追手門学院大学のコミュニケーションを大切にし、持続可能な社会貢献と自らの生涯研鑽を行おうとする会員皆様との連携・支援を目的となっています。我等九州支部も20年前から毎年定例会を実施し、その都度校友会本部の皆様、大学の先生方にご参加を仰ぎ生涯学習の一環としてのお話や大学の現状と展望を窺うと共に、未加入の皆様への広報活動も行っています。

本年度新会員となられる九州の皆様、及び九州に勤務される皆様には、是非お近くで開催されます支部総会・懇親会にご参加いただきオール追手門・追手門ミニユーティの一人として後輩諸氏に繋いで戴きたいと考えています。次年度からは学年別・学科別等の懇親会も企画しています。是非卒業後の連絡先を大学の校友会事務局へお知らせ下さい。

母校創立45周年記念事業について

母校追手門学院大学は、2011年4月1日で大学創立45周年を迎えました。大学ではこれを記念し、2回の記念講演会を開催いたしました。ご講演をしていただいた講師の先生方は、教養教育について高い造詣をお持ちであり、それぞれの立場から教養教育について論じられました。以下は大学でまとめられた講演会の要旨の一部です。

校友会では、大学創立50周年に向けての独自のイベントの開催や、大学と協力し、これから行われます創立50周年の記念行事について、最大限に協力していきたいと思っております。そのためには校友の皆さまのご協力やバックアップが不可欠です。母校発展のため協力いただきますようよろしくお願ひいたします。

優駿ホール
第1回記念講演会
 2011年7月7日(木)
 に、大学創立45周年事業・

じくわざかだと言われています。二世紀余りにわたり平和が続いた江戸時代に、経済も文化も大いに発展し、大江戸が東京と改称された近代以降も、全国から人々が流入してきました。

急速な変化と刺激、グローバルな人脈を求める若い世代の皆さんに、仕事や生活、文化や意識の中から、都市再生の活力を肌で感じ、将来的日本を築くりリーダーになつて頂けたらと願っています。大阪市長の橋下氏も今、国政をめざして模索しているようですね。

我ら追大、校友会東京支部(関東圏7県)は、第4期卒の先輩を筆頭に約550名の会員によって構成されています。年1回の東京支部総会&懇親会や大学主催の講演会開催だけでなく、有志による集い(呑み会?)も行っています。異業種交流会のような形で、大学時代の話から仕事上の相談・アドバイス、「一線で」活躍中の先輩方々からのお話など、幅広く新卒の皆様を応援できるメンバーが揃つております。また、女

性の参加もあり、賑やかになります。大阪市長の橋下氏も今、国政をめざして模索しているようですね。

我ら追大、校友会東京支部(関東圏7県)は、第4期卒の先輩を筆頭に約550名の会員によって構成されています。年1回の東京支部総会&懇親会や大学主催の講演会開催だけでなく、有志による集い(呑み会?)も行っています。異業種交流会のような形で、大学時代の話から仕事上の相談・アドバイス、「一線で」活躍中の先輩方々からのお話など、幅広く新卒の皆様を応援できるメンバーが揃つております。また、女

君達は、追大に校友会なる会があるのを存知ですか？そう、卒業アルバムを卒業生に贈呈している会です。新卒業生の君達は、追大校友会の新入会者になつたのです。

では校友会って何の会？答えは、O B会です。

今、社会では媒体をとおしての縁や絆が主に成りつたあるなか、阪神淡路1・17や東北の3・11を体験する事により、体温の感じる人との本来の縁を大事にし、そして育み、その絆を大切にすることが求められます。

京都支部では、春に支部の集いとして昨年は自己啓発セミナー、今年はぶらつとアメリカに旅行して20年という人生談を語つていたり、会場はその生き方となる為、共に努力していく。また現役学生に向けた就職活動への支援やサポートをも視野に入れた活動を取り入れて行こうとキャリア開発なども行おうとしています。

京都支部では、春に支部の集いとして昨年は自己啓発セミナー、今年はぶらつとアメリカに旅行して20年という人生談を語つていたり、会場はその生き方となる為、共に努力していく。また現役学生に向けた就職活動への支援やサポートをも視野に入れた活動を取り入れて行こうとキャリア開発なども行おうとしています。

京都支部では、春に支部の集いとして昨年は自己啓発セミナー、今年はぶらつとアメリカに旅行して20年という人生談を語つていたり、会場はその生き方となる為、共に努力していく。また現役学生に向けた就職活動への支援やサポートをも視野に入れた活動を取り入れて行こうとキャリア開発なども行おうとしています。

京都支部では、春に支部の集いとして昨年は自己啓発セミナー、今年はぶらつとアメリカに旅行して20年という人生談を語つていたり、会場はその生き方となる為、共に努力していく。また現役学生に向けた就職活動への支援やサポートをも視野に入れた活動を取り入れて行こうとキャリア開発なども行おうとしています。

中国支部では、4年、中国・四国支部から独立して

西賀茂正伝寺での御月見の会に参加しました。狩野山樂の襖絵もよかつた、日々出会い、日々感動、日々と！新入会者の君達には、校友会を身近に感じていたときめき、これからもずっと一緒に活動にあたりご意見を聞きたいと思っています。次の新入会者為にも積極的な参考や意見をまつていています。

中国支部では、4年、中国・四国支部から独立して中国支部として発足し、支部長に任命されました6期卒業の筒井と申します。現在は地元である岡山を中心にお活動している状態です。

まず、校友会とは何をし始めた所かご存知でしょうか。皆さんがこれから卒業されられて現在どこに就職され、

つたので、一般見学では入れない所まで見学）その後、西賀茂正伝寺での御月見の会に参加しました。狩野山樂の襖絵もよかつた、日々出会い、日々感動、日々と！新入会者の君達には、校友会を身近に感じていたときめき、これからもずっと一緒に活動にあたりご意見を聞きたいと思っています。次の新入会者為にも積極的な参考や意見をまつていています。

中国支部では、4年、中国・四国支部から独立して中国支部として発足し、支部長に任命されました6期卒業の筒井と申します。現在は地元である岡山を中心にお活動している状態です。

まず、校友会とは何をし始めた所かご存知でしょうか。皆さんがこれから卒業されられて現在どこに就職され、



し38年後の平成23年に60歳の還暦を迎えられました。そこで5期生の有志が集まり、還暦同窓会が計画され開催されました。

当時は経済学部と文学部しかもく、学科も経済、経営、心理、社会、東洋文化、英米語学の6学科約730名と少なく誰もが顔見知りでした。しかし80名近くの同窓生が全国から集まり、中には38年ぶりの友人もおりました。会が始まる前から会場は38年前のキャンパスとなり懐かしい雰囲気に包まれていました。

2012年は六期生の大(還暦)同窓会!!

いました。そして短い時間を惜しみながら次回の再会を約束しました。今回会場ではメールアドレスなどの登録をしてもらい今後の連絡手段の一つとしました。

また、記念写真をネット等での配布方法、懐かしさを誘う企画、名簿に記載の無い同窓への連絡などを今後の検討としました。

昨年、5期生で開催されました「還暦同窓会」を今年も6期生が開催したく企画しています。

校友会常任理事
賀田 肇(経済学部)
吉田 浩幸(文学部)
京都支部支部長
筒井 弘祐(経済学部)
九州支部支部長
岩崎 陽一(文学部)
岡 正樹(経済学部)

区はもちろんのこと、各地方支部の地域からも多数お誘いあわせの上、ご臨席ください。

会場は、ホテル等の宴会場を利用せず、大阪城のすぐそばにある追手門学院の施設「大阪城スクエア」六階の「大手前ホール」を利用致します。

宮本輝先輩と植村直己冒険賞受賞の中西大輔氏の追手門学院主催第一回高島鞆之助賞授与式が開催されましたホールです。学院の各種行事や記念パーティ等でよく利用され、大阪城天守閣を一望に眺められる素晴らしい環境です。

後日、6期生の皆様をはじめ恩師やご来賓の方々には詳しいご案内させて戴きます。

また、多数のご参加をお待ち致しますと、ともにお手伝いをお願いできます。ぜひ、校友会事務局



期日 11月3日(土曜日)
時間 午後1時受付
住所 大阪市中央区大手前
場所 追手門学院
会費 五千円

2011年度 春学期末学位授与式が 挙行されました

9月28日(水)午前10時30分より、2011年度春学期末学位授与式が、1号館3階会議室5にて挙行されました。

追手門学院歌斎唱、学位記授与の後、竜田学院長並びに落合学長より式辞が述べられました。校友会からは、卒業記念品として学部卒業生54名に、平野会長から「卒業アルバム」を贈呈しました。

引き続いて、食堂棟3階に場所を移し、午前11時30分より教育後援会主催の卒業謝恩パーティが開催され、盛況の内に卒業生たちは巣立つていきました。



追手門の教育ルネサンス第1回講演会が開催されて、神戸女学院大学名誉教授・内田樹先生に「大学における教育」と「教育とキャリア」をテーマにご講演いただきました。

ご講演は「教育の現状」、「日本の横並び主義」「眞の国際性とは」など多岐にわたりました。

2012年1月26日(木)に、大学創立45周年事業・追手門の教育ルネサンス第2回講演会が開催され、国際日本文化研究センター所長・猪木武徳先生に「大学と教養教育」「大学の反省」その後」をテーマにご講演いただきました。

人文学教育、外国語教育がなぜ必要なのかについて、大学を取り巻く外的条件や

その歴史的背景などを交え、重層的にお話いただきました。**大学創立45周年記念宮本輝講演会**
「心と言葉」開催報告

2011年10月22日(土)、大学創立45周年記念事業として、第一期卒業生作家の宮本輝氏を講師に迎えて、標記講演会を学生会館大ホールにて開催しました。今回は読売新聞社が進める「活字文化公開講座」も兼ねており、一般参加希望は900通を超える、全国から来られた聴衆で400席弱の会場は満席となりました。当日は同窓生も多く出席しており、宮本氏は懐かしそうに講演されました。

太宰治賞、芥川賞はじめ、紫綬褒章など数々の受賞歴を持ち、複数の雑誌や新聞連載を抱えている宮本氏の活躍はみなさんに存知のことと

思います。講演では作家になつてすぐにかかつたパニック症候群を縁に、心とはなんだろうと真剣に考え、その答えを求めて古典文学を読んだ日々、そしてそこから良い作品にはむずかしい言葉や説明はいらぬ、いかに言葉を使わずに我慢するかが重要と気づいたと、作家の仕事からは一見逆説とも見える文学論を語られました。演題である「心と言葉」について、それらによつてしか文学作品は生まれないから、深く感じられました。心を持つ、いかに書かずに我慢するか、これからの作品を見てほしいとの言葉に次回作がより楽しみになりました。

講演会の模様は2011年11月13日刊『読売新聞』大阪本社版に採録されました。『宮本輝ミュージアム』ではビデオもご覧いただけます。

**上海師範大学
交換留学生歓迎会に
参加して**
追手門学院大学学生部(兼)
国際交流教育センター
次長 越智 英一

前線でこれら業務に携わってきた私が確認するのは、大学との提携や様々なイベントを実施してきた。

本学は現在、国際交流推進年の最終年度を迎えており、この間、海外の多くの大学との提携や様々なイベントを実施してきました。上海師範大学との協定締結には、長年に渡り同大学の校友会との深い交流を持った校の校友会の皆様には心から感謝を申し上げたい。

上海師範大学との協定締結には、長年に渡り同大学の校友会との深い交流を持つ校友会の皆様のご支援を賜りながら、着実に発展させていきたいと願っています。

1回講演会が開催されて、神戸女学院大学名譽教授・内田樹先生に「大学における教育」と「教育とキャリア」をテーマにご講演いただきました。

2012年1月26日(木)に、大学創立45周年事業・追手門の教育ルネサンス第2回講演会が開催され、国際日本文化研究センター所長・猪木武徳先生に「大学と教養教育」「大学の反省」その後」をテーマにご講演いただきました。

2011年10月22日(土)、大学創立45周年記念事業として、第一期卒業生作家の宮本輝氏を講師に迎えて、標記講演会を学生会館大ホールにて開催しました。今回は読売新聞社が進める「活字文化公開講座」も兼ねており、一般参加希望は900通を超える、全国から来られた聴衆で400席弱の会場は満席となりました。当日は同窓生も多く出席しており、宮本氏は懐かしそうに講演されました。

太宰治賞、芥川賞はじめ、紫綬褒章など数々の受賞歴を持ち、複数の雑誌や新聞連載を抱えている宮本氏の活躍はみなさんに存知のことと

思います。講演では作家になつてすぐにかかつたパニック症候群を縁に、心とはなんだろうと真剣に考え、その答えを求めて古典文学を読んだ日々、そしてそこから良い作品にはむずかしい言葉や説明はいらぬ、いかに言葉を使わずに我慢するかが重要と気づいたと、作家の仕事からは一見逆説とも見える文学論を語られました。演題である「心と言葉」について、それらによつてしか文学作品は生まれないから、深く感じられました。心を持つ、いかに書かずに我慢するか、これからの作品を見てほしいとの言葉に次回作がより楽しみになりました。

講演会の模様は2011年11月13日刊『読売新聞』大阪本社版に採録されました。『宮本輝ミュージアム』ではビデオもご覧いただけます。

**五期生が
還暦同窓会を開催**
蟻柴 潤一
(5期生 文学部)
昨年9月4日、梅田の新阪急ホテルで5期卒業生の同窓会が開催されました。5期生は昭和49年に卒業

は人との対話なくしてありえない。

今回の歓迎会で語り合つた交換留学生も、我々が理解しなければならない生きる交換留学生2名を受け入れた。

当日は、あいにく1名が体調不良のため参加できなかつたが、交換留学生および大学の双方にとって、單なる歓迎会という意味合いを超えた貴重な情報交換の場となつた。

思ひます。

**東日本大震災
義援金のお願い**

啓蟬の頃、草木が芽吹き
虫たちも姿を見てくれる被
災地では、「うれしい」に
は程遠い春の訪れではない
でしょうか。

広報委員会では、被災地
方校友の方々へ会報を全て
送付すべく努め、ほぼ、届
けられている事がわかつて
います。ただ、お一人だけ、
まだに連絡をとる事が出
来ません。校友会としても
引き続き、お尋ね、お探し
続けます。校友のご無事と
一日も早く被災地の多くの
方々に、本当に「うれしい
春」の訪れがきますようお
祈り申し上げます。

会報につきましては過去
の号も含め、

校友会ホームページ
URL:<http://www.ogu-koyukai.com/kaihou.html>

よりダウンロードもできま
す。

校友会では、引き続き、
皆様から義援金を募ってい
ます。どうぞご理解いただき、
よろしくご協力をお願
い申し上げます。

郵便局振込取扱票「青色」)
口座番号
0095016226741

加入者名
追手門学院大学校友会

**プロフィールシート
ご協力のお願い**

母校キヤリア開発部、ま
た、校友会キヤリア開発支
援委員会の努力により、後
輩卒業予定者の就職内定率
は一定の成果を上げてはお
りますが、未だ、思わしく
は御座いません。

既卒者の就職未決定者も
大量に発生しているのが現
状で御座います。このよう
な状況下、校友会では在校
生の就職支援は、もちろん
の事、既卒就職未決定者の
為にもセミナー等の母校支
援活動を実施してまいりま
した。また、国際交流や留
学生の活動にも支援ご協力
を行っております。キャリ
ア開発支援並びに国際交流
支援をはじめとした母校支
援の一助に校友の皆様方の
温かいご理解ご協力をお願
いたたく、同封のプロフ
ィールシートに、お力添え
戴ける内容をアンケート式
にお尋ねいたしますので、

ケートにお答え戴き、ご登
録お力添えいただければと
願っております。多忙の折とは存
じますが、同封のプロフィ
ールシートにご記入のうえ、
ご返送頂きたくお願い申し
上げます。

**追手門学院
大阪梅田サテライト
4月1日オープン**

4月1日から梅田阪急タ
ーミナルビル16階に母校学
院の「大阪梅田サテライト」
が開設されます。母校では
学生の就職活動、入試広報
活動の拠点として、阪急茨
木市駅前と大阪城スクエア
にサテライトオフィスを設
け学生支援に努められてき
ました。4月からは、これ
らのサービスをより充実さ
せることを目的に大阪梅田
に拠点を開設されます。「大
阪梅田サテライト」では、
学院・大学のブランドイメ
ージの向上、募集戦略の拠
点、キャリア・就職支援と
あわせて生涯学習支援、社

会連携活動等、さまざま
事業を展開される予定です。
また、卒業生・校友会の方々
など、学院関係者の情報交
換や交流の場としても利用
できるようです。

**校友会と母校の最新情報
「校友会メールマガジン」
への登録をお願いします。**

携帯電話とパソコンに配
信しています。また、携帯
用のホームページもメルマ
ガでは伝えきれない情報を、
リアルタイムにお伝えでき
るようになりました。メル
マガ登録と携帯へのブック
マーク登録をお願いいたし
ます。

メルマガの受信は、パソ
コンと携帯、両方に登録で
きます。ご不明な際は校友
会事務局までメールにてお
問い合わせください。



編集後記

評議員に就任して初めて
編集作業の手伝いをしま
た。会報を生み出すのは苦
労と楽しみの双方が内在す
る作業です。段取り不足も
あり関係者にご迷惑をおか
けしましたが完成と相成り
ました。感謝。(S)



① メルマガ登録用 QR コード
http://ogu-koyukai.com/script/member_regist.php



② 携帯電話用ホームページ QR コード
<http://www.ogu-koyukai.com/keitai/koyukaitop.html>

携帯での受信には @ogu-koyukai.com の指定受信を
設定してください。